

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(生)甲第192号	氏名	曾 偉
学位審査委員	主査 谷村 賢治 副査 連 清吉 副査 戸田 清		
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>曾 偉氏は平成18年4月に長崎大学大学院生産科学研究科博士後期課程に入学し、現在に至っている。</p> <p>同氏は、本研究科に入学後、経済活動と環境負荷の総合的な勘定体系の研究をはじめ、これまでに「地域における環境・経済統合勘定に関する研究—長崎県の場合—」と「長崎県版環境経済統合勘定の構築とそれに基づく若干の分析」という二本の研究論文(いずれもレフェリー付き)を書き、これを「地域における経済活動と環境負荷の総合的な勘定体系の構築に関する研究」としてまとめ上げ、この度、本学生産科学研究科教授会に博士(環境科学)の学位を申請した。</p> <p>本研究では、まず富山県や北海道を対象にした地域経済環境勘定に関する先行研究の検討を行っている。それを踏まえて、長崎県における経済と環境の関係を明らかにするために、長崎県版環境経済勘定SEEAを試算した。</p> <p>さらに、兵庫県版ハイブリッド型統合勘定の推計方法を参考にしながら、長崎県版ハイブリッド型統合勘定も試算している。</p> <p>その上で、いくつかの数値指標を用いて分析を行い、長崎県の経済活動状況、産業構造、及び経済と環境の相互関係について考察している。</p> <p>最後に、中国において経済活動と環境負荷の総合的な勘定体系を導入することの可能性についても検討している。</p> <p>本研究の特徴としては、以下の諸点が挙げられよう。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 SEEAとハイブリッド型統合勘定の両方を推計した点</li> <li>2 国際CO2排出権取引価額を除去費用原単位とし、地球環境への影響項目に地球温</li> </ol>			

暖化の重要な原因の一つとなるCO2の帰属環境費用を推計した点

### 3 中国への当該勘定の適用可能性に関する検討

以上に記したように本論文は、持続可能な社会を構築するための有力なツールの開発と、その応用を試みたものである。自然資源を投入した経済活動、及びその結果としての廃棄物の放出を、包括的に評価し、それらの相互関係を明らかにすることは、地域における環境経済統合政策を立案・実行するための基礎的な作業となり、多大な貢献をなすものと評価でき、大きな意義を有するものといえよう。

長崎大学大学院生産科学研究科教授会は、平成20年12月17日の定例教授会において論文内容の要旨を検討し、本論文を受理して差し支えないものと認め、上記の審査委員を選定した。審査委員会では論文内容に関して慎重に審議し、公開論文発表会を実施するとともに、最終試験を行い、論文審査および最終試験の結果を平成21年2月18日の生産科学研究科教授会に報告した。

審査委員会は、本論文は博士（環境科学）の学位に値するものとして合格と判定した。